

記 事

◎第8回理事会(昭.25.12.7)出席者:三浦会長, 稲浦副会長, 佐藤, 国分, 市浦, 仁杉, 奥田, 米元, 西松各理事

協議事項: (1) コンクリート標準示方書解説の予約募集ポスターを作つて関係方面に宣伝すること。

(2) 26年5月の総会を第7回年次講演会と共に関西支部で引受けられるか否か稲浦副会長下打合のこと。

(3) 25年度土木賞委員会委員を各支部に推薦方依頼し, 一方次回で各理事候補者を持寄り, 1月中に常務委員会に諮つて決定すること。(4) 英国 Science Museum 申出の刊行物寄贈の件は承認。(5) 土木学会及び論文集の英訳は市浦理事調査研究のこと。(6) 1951年 ASCE 会長の来朝歓迎は講演会及びパーティーを開き文献を贈呈すること, 等につき佐藤理事担当スケジュールを作ること。(7) 会費滞納者には督促をきびしく各理事も極力滞納者に納入方懇願し, 正員, 特別員は1月中その反応を見て会誌発達を停止すること。(8) 工業技術庁製図規格委員として福田武雄, 平井敦, 丸安隆和の3氏を推薦すること。

◎各種委員会

(1) 編集委員会(昭.25.12.19)出席者: 奥田委員長, 米元副委員長外各委員及び関西支部小西委員代理として米谷氏出席。協議事項: (1) 第36巻第2号登載論文を次の通り決定。谷藤正三: 路盤排水工法に関する調査研究, 倉田宗章: 羽目板の安定問題, 山田順治, 伊藤茂富: コンクリートの電気養生法に関する研究, 伊藤富雄: 傾斜面の下に掘つたトンネルの周辺応力について, 窪田吾郎: 東海道線瀬田川橋梁橋脚の列車振動調査, 楠宗道: 河床被覆石の大きさと流積及び

流積等, 川上暢夫: 2ヒンヂプレートガーダーアーチの設計々算の簡易化について, 神谷貞吉: 水圧鋼管のための超音波式肉厚測定器。

(2) ニュース欄を拡充すること。(3) 25年度優秀論文選定準備を進めるよう各委員に委員長から要望。

(2) 用語委員会(昭.25.12.15)出席者: 福田委員長外各委員。議事: 鉄道用語の調整, 橋設計に関する用語の審議。

◎その他

(1) 日本学術会議会員選挙結果は前号でお知らせした通り全国区5名, 地方区3名計8名であつた。学会は会長名で祝詞を呈し, 関係各団体その他に報告し, その御協力に深謝の意を表した。

(2) 日本工学会定期評議員会(昭.25.12.11): 中川書記長出席, 議事: (1) 西ドイツ及び米国からの印刷物交換の申出に尽力すること。(2) 定款一部改正について。(3) 工業技術総覧内容改善。(4) 昭和27年春連合学術講演会開催について。

(3) 力学研究連絡委員会(JBC): 日本学術会議では万国理論及び応用力学委員会との連絡のため上記委員会を結成, 委員長中西不二夫氏, 委員29名(内土木関係田中豊, 本間仁, 最上武雄の3氏)である。

支 部 だ よ り

◎東北支部: 秋季行事として見学会を催し盛会裡に終了した。

日 時: 昭.25.11.18~19 両日

場 所: 石淵ダム工事見学後花巻温泉泊, 翌19日猿ヶ石ダム工事視察

参加会員: 38名

入 退 会 報 告 (12月中)

1. 入 会	43名(正員10,	准員25,	学生員8)
2. 復 活	16名(正員14,	准員2)	
3. 退 会	19名(正員5,	准員5,	学生員9)
4. 死 亡	1名(准員1)		

会 員 現 在 数 (昭.25.12.31)

名誉員	賛助員	特別員	正 員	准 員	学生員	計
12	15	151	3273	5624	844	9919

准員 嵯峨崎知幸君は昭和25年9月3日国鉄信濃川発電所に於て, 第7隧道コンクリート作業監督中, 大崩壊により殉職された。本会は茲に謹んで哀悼の意を表し, 同君の冥福を祈る次第である。